

## ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーが世界をつなぐ

2019～20年度年度

国際ロータリー会長 Mark・D・Maloney



## 東京麹町ロータリークラブ

### 本日の例会プログラム

第1回例会 2019.7.1 (#2242) 会場:舞の間  
例会ホスト・紹介係 地引君 会費係 内田君  
受付係 保科君 福田君  
司会者 澤本君 ソングリーダー 後藤君  
卓話「三役就任挨拶」  
佐藤茂会長・須藤仁副会長・荒井和幸幹事

### 前回の報告

第35回例会 2019.6.17 (#2241)

## 最終例会

会場:青山「サバティーン」

### 会長報告

皆様、お集まりいただきありがとうございました。本日が今期最後の例会です。各委員会の委員長には、それぞれ様々な活動を行っていただきました。お陰様で、充実の1年間でした。ご協力に感謝を申し上げます。次年度も佐藤新会長を中心により一層のご活躍を祈念いたします。

### 幹事報告

1年間ありがとうございました。不慣れな点多々ございましたが、皆様の温かいご支援のお陰で恙無く任を終えることができました。心より感謝を申し上げます。

☆各委員長におかれましては、業績報告書・活動計画書のご提出を宜しくお願い致します。

### 例会記録

会員総数 46名 出席会員数 31名  
ゲスト 0名 その他 11名  
ビジター 5名 事務局 2名  
海外ビジター 0名 出席率 71.74%

6月3日 Make-up後の  
出席率 78.26%



### 次回予告

第52期 第2回例会 2019.7.8(#2243)

会場:舞の間  
例会ホスト・紹介係 地引君  
受付係 保科君 福田君  
会費係 内田君  
司会者 澤本君  
ソングリーダー 後藤君

### 卓話「各奉仕委員長就任挨拶」

駒井職業奉仕委員長・濱田委員長  
荘村国際奉仕委員長・乳井青少年委員長  
内田研修リーダー

7月15日(月曜日 海の日) スレーワージェン・ベルギー王国大使の送別会としてベルギー大使館での移動例会となります。事前に登録を行わないと、入館できません。出欠をお知らせください。休日の例会開催となりますので、7月22日は休会となります。

## 三役就任挨拶



佐藤 茂 第 52 代会長

今年度の国際ロータリー会長マーク・ダニエル・マローニ氏は、「ROTARY CONNECTS THE WORLD(ロータリーは世界をつなぐ)」をテーマに掲げ、より力強いロータリーを築くためのビジョンを発表しました。

表しました。

今年度の当クラブの基本方針は「11月のインターシティミーティングを全会員で成功させよう」です。

そして、スローガンは「ロータリーライフをみんなで楽しもう」とさせていただきます。

当クラブの若林英博会員がガバナー補佐に任命され、それに従い、IMを東京麹町ロータリークラブが主管することになりました。日時は11月25日、場所はニューオータニ芙蓉の間と決定しています。テーマは、「オリンピック・パラリンピックとロータリー」(仮称)です。講師に元東京オリンピック招致委員会 CEO・東京クラブメンバーの水野正人氏を招いて基調講演をして頂き、二部では3名のオリンピック関係者を交えてのシンポジウムを行います。水野氏にファシリテーターを務めて頂くことにより、オリンピック後の無形のレジェンドは何か、ロータリーに何ができるのか?などを引き出して頂けることと期待しています。

パラリンピックの開催によって、障害をもつ人も競技者として活躍できる機会が持てるようになりました。選手を志す人は健常者と同じように夢を追いかけられるのです。また、パラリンピックを開催することによって、社会にも還元できることがあります。

既存の交通機関をユニバーサルデザインに基づいて改善していくと、街がバリアフリーになっていきます。そこに住む人たち・訪れる人たちに利益がもたらされます。障害を持った人やベビーカーをひく人、高齢者のかたなど、そこに住んでいる人たちにとって長期的にプラスになります。それをアピールすることも、オリンピック・パラリンピック成功のきっかけになります。

東京が、世界のモデル都市になることも目指せるかもしれません。動きやすい街づくりになっていくほうが、開催後にわたって意義があるような気がします。IMを成功させましょう。

主な奉仕活動としては、鍵盤ハーモニカのインドネシア児童支援、チャリティー公演(寄席の予定)によるポリオプラスへの寄付、子供食堂への支援など実践して参る所存です。また、福島南RCとの共同事業としての福島支援内容については、十分検討したいと思っております。

2月の沖縄での地区大会、6月のハワイ国際大会には親睦旅行を兼ねて、多くの皆様と参加したいと存じます。1年間どうぞ宜しくお願い致します。



須藤 仁 副会長

ブランディングとは地区研修協議会クラブ奉仕部門より

2020年に100周年を迎える第2580地区の将来を見据え、メンバー1人一人が地区・クラブのブランディングを自覚実践することによってミッション(使命感)や構成要素を強化し、活性及び維持管理していくことで魅力的で盤石な「第2580地区らしさ」「我がクラブらしさ」の引力を創出することを目的とします。

ブランドとは「焼印をつけること」を意味する brander というノルウェーの古ノルド語から派生したものであるといわれています。古くから放牧している家畜に自らの所有物であることを示すために自家製の焼印を押した。現在でも brand という言葉には、商品や家畜に押す「焼印」という意味がある。これから派生して「識別するためのしるし」という意味を持つようになった。「真新しい」という意味の英語 brand-new も「焼印をおしたばかりの」という形容が原義である。商標法で保護されている「ブランド」も、同じような商品、会社、組織を見分けるために製造元が取りつけていた商標やマーク、デザインなどの付属物に過ぎない。しかしそれらが優れていた結果広く使われるに従い、付属物が「商品が良質だ」「使い勝手が良い」「信頼できる会社、組織だ」等といった判断基準を生活者に連想させるような働きをするようになる。イメージを確立した後は、ブランド自体が重要な意味を持つようになる。それが地域を超えて一人歩きをする力を持つようになる。ブランドの最大の強みは歴史と言われることもあります。歴史があるという事は「信頼、安心、安全」があり「フィロソフィー」が受け継がれ且つ変化し続けているからファンが存続し続けます。第2580地区も100年のブランド構築となります。そのブランディングを滞ることなく自クラブへ第2580地区へブラッシュアップしてくべきです。メンバー1人ひとりがそれぞれのブランドを持っています。「社会、経験、資格、学歴、スポーツ、文化、趣味等々」今日、明日、1カ月、1年と日々ブランディングをしています。企業や商品はメディアや Web、CSRなどビジネス環境の中でブランディングをしてブランド確立をします。第2580地区や各クラブは我々メンバーのクラブ奉仕活動を通してブランディングをしていきます。

ブランドとは「焼印をつけること」を意味する brander というノルウェーの古ノルド語から派生したものであるといわれています。古くから放牧している家畜に自らの所有物であることを示すために自家製の焼印を押した。現在でも brand という言葉には、商品や家畜に押す「焼印」という意味がある。これから派生して「識別するためのしるし」という意味を持つようになった。「真新しい」という意味の英語 brand-new も「焼印をおしたばかりの」という形容が原義である。商標法で保護されている「ブランド」も、同じような商品、会社、組織を見分けるために製造元が取りつけていた商標やマーク、デザインなどの付属物に過ぎない。しかしそれらが優れていた結果広く使われるに従い、付属物が「商品が良質だ」「使い勝手が良い」「信頼できる会社、組織だ」等といった判断基準を生活者に連想させるような働きをするようになる。イメージを確立した後は、ブランド自体が重要な意味を持つようになる。それが地域を超えて一人歩きをする力を持つようになる。ブランドの最大の強みは歴史と言われることもあります。歴史があるという事は「信頼、安心、安全」があり「フィロソフィー」が受け継がれ且つ変化し続けているからファンが存続し続けます。第2580地区も100年のブランド構築となります。そのブランディングを滞ることなく自クラブへ第2580地区へブラッシュアップしてくべきです。メンバー1人ひとりがそれぞれのブランドを持っています。「社会、経験、資格、学歴、スポーツ、文化、趣味等々」今日、明日、1カ月、1年と日々ブランディングをしています。企業や商品はメディアや Web、CSRなどビジネス環境の中でブランディングをしてブランド確立をします。第2580地区や各クラブは我々メンバーのクラブ奉仕活動を通してブランディングをしていきます。

佐藤会長のもとクラブ奉仕各委員会(プログラム・会員  
増強・会員選考、職業分類・  
会報、CICO・親睦・R 情報・健康管理)と連携をはかり、活  
動をバックアップしてクラブを活性化させ全会員が楽しく  
参加できるよう努めたいと思います。

会員皆様のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



荒川 和幸 幹事

この度、佐藤会長の下で幹事をご  
指名頂きました荒川でございます。

私は2019年ー20年度が入会7年目で経験不足ではござ  
いますが、以下の点を中心に役割を果たしていきたい  
と考えております。

1. 佐藤会長の方針を基本としてその実現の役に立  
てればと考えております。  
(ア) 会員の皆さんに何か新しさを感じてもらえ、より  
一層楽しい会にしていくにはどうしたらよいか考  
えていきたい。  
(イ) 昨年度入会された方々にも親しみやすく、楽しい  
クラブであるように、相互に協力し役割を分担し  
ていけるような環境づくりに励みたい。  
(ウ) また会員の増強が重要な課題であり、会の活動  
がより一層魅力的なものであると感じてもらえる  
ような活動に向けて、各委員長の活動方針・運  
営に協力していきたい。
2. 今年はIMの幹事クラブとして関係の方々が努力  
されています。3地区合同の規模でのIMで、是非  
とも盛会になるように皆さんと一緒にサポートして  
いきたいと考えております。
3. 最後に、若林会員がガバナー補佐として、またそ  
の後もガバナーエレクト、ガバナーとしての責務を  
果たされます。そのためには会員全員の協力も  
必要であり、私も本年の幹事として協力してい  
きたいと考えております。

50周年の際に検討された「今後のあり方」にありましたよ  
うに「クラブとそのメンバーとしての品格」を重んじ、各委  
員会の委員長初め皆様のご協力を頂きながら「明るく  
元気で、楽しく、役に立つクラブ」を目指して努力したいと  
考えております。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

国際ロータリー会長

Mark D Maloney

Decatur RC

(アラバマ州・米国)



税法、遺産、農業法を  
専門とする Blackburn,  
Maloney, and Schuppert

法律事務所の社長であるマローニー氏は、米国南東部・  
中西部の大手農場経営者の顧問弁護士であるほか、米  
国弁護士協会の農業関係委員会の委員長を務めています。  
また、米国弁護士協会とアラバマ州弁護士協会、アラ  
バマ州法律協会の会員です。地元ジケーターでも熱心に  
活動し、自身が所属する教会の財務委員長と地元カトリ  
ック学校理事長のほか、Community Foundation of  
Greater Decatur 会長、Morgan County Meals on Wheels  
会長、United Way of Morgan County 理事、Decatur-  
Morgan County 商工会議所の所長を務めています。

1980年にロータリークラブ入会し、以来、RI 理事、財団  
管理委員と副管理委員長、ジョナサン・マジアベ 2003-  
04 年度会長のエイドを務めました。また、規定審議会の  
議長と副議長、運営議事手続きの専門家、研修者のほ  
か、2004年大阪国際大会委員会のアドバイザー、2014  
年シドニー国際大会の委員長も務めました。ガバナーと  
なる前には、研究グループ交換のリーダーとしてナイジェ  
リアに赴いた経験もあります。

ロータリー財団関連では、未来の夢委員長、ロータリー  
財団地域コーディネーター、財団研修セミナーのモデレ  
ーター、恒久基金米国アドバイザー、平和センター委員、  
WASH(学校での水・衛生)委員会のアドバイザーを歴任  
しました。同じ法律事務所の弁護士であり、ジケーター・ロ  
ータリークラブの元会長でもあるガイ夫人とともに、ポー  
ル・ハリス・フェロー、メジャードナー、遺贈友の会会員と  
なっています。

#### 東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204 号
		TEL:03-3263-9220
会長	佐藤 茂	FAX:03-3263-9122
幹事	荒川 和幸	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	植芝 守央	URL: www.koujimachi-rc.jp